

既刊特集

「災害と記憶の継承 — 災禍をめぐる社会と人間の記録 —」

9月1日の「防災の日」は、災害への備えを確認するだけでなく、過去の災禍に対する記録と記憶の継承を再確認する日でもあります。本特集では、阪神・淡路大震災の記録、平成期における復興の軌跡、災害を悼む文化的・思想的営為、そして関東大震災における外国人虐殺の問題に至るまで、災害と社会の関係を多角的に検証する書籍を選定しました。



上段左から『阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか』『平成災害復興誌』『中国・朝鮮人の関東大震災』
下段『われわれが災禍を悼むとき』



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



番線 返品条件付注文品	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
		阪本真由美 著 阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか —被災者支援の30年と未来の防災 ISBN978-4-7664-3002-8 C0036	2,640 円
		牧紀男 著 平成災害復興誌 —新たななる再建スキームをめざして ISBN978-4-7664-2910-7 C3052	2,750 円
		武藤秀太郎 著 中国・朝鮮人の関東大震災 —共助・虐殺・独立運動 ISBN978-4-7664-2909-1 C3021	2,970 円
		福田雄 著 われわれが災禍を悼むとき —慰霊祭・追悼式の社会学 ISBN978-4-7664-2654-0 C3036	3,300 円